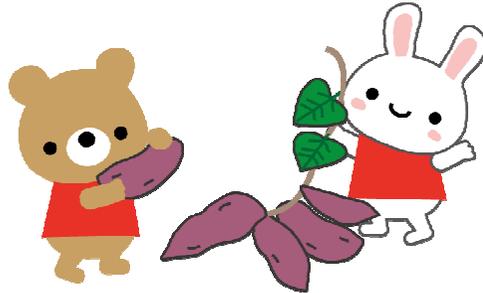


# 図書館だより

No. 5  
平成 26 年 9 月 26 日発行

今年の桔梗祭も大賑わいの2日間となりましたね。みなさんも大いに楽しみ、たくさんの思い出ができたことだと思います。また、ステージ発表や後夜祭での生徒会長の言葉などに感動した人も多かったのではないのでしょうか。

さて、9月も下旬となり、過ごしやすい涼やかな気候となりました。暑さにやられて夏の間はなかなか出かけることのなかった人もその分を取り戻しに、様々なイベントやスポットに繰り出してみましょう。東京都小金井市にある江戸東京たても園では現在、『ジブリの立体建造物展』が行われています。「千と千尋の神隠し」に出てくる油屋や「崖の上のポニョ」では宗介の家、「天空の城ラピュタ」ではパズーが働く鉱山など、ジブリの建造物を精巧に再現したミニチュア模型が展示の見どころとなっています。建築物といういつもとは違った視点でジブリを楽しむおすすめの展覧会です。



## リベンジ高校生活! ? \*

### 9136-ト 『リメイク・シックスティーン』 豊島 ミホ || 著 幻冬舎

高校1年生の春、沙織はクラスメイトの孝子に衝撃的な告白をされる。それは、好きな人の名前などではなく、自分は未来からやってきたのだというにわかには信じがたい話だった。うまくいかない27歳の自分をやり直したいと願った孝子は、高校生として戻って来られたという。そして、今度こそは青春を楽しむのだと意気込む。孝子の見えない心の内にもどかしさを感じながらも、その孝子の意気込みに平凡な女子高生だった沙織自身も変わっていく。

友だち、恋、家族、進路・・・、「これぞ青春！」という高校生活がこの本1冊にギュッと閉じ込められています。みなさんと同年代であるふたりの少女の青春を一緒に楽しんでみてください。

## ジブリの世界をより深く楽しむ\*

### 778-ス 『THE ART OF Spirited Away』 スタジオジブリ || 編集 徳間書店

イメージボード、美術ボード、背景、デジタルデータ、キャラクター設定など、ジブリ映画を物語の流れに沿って紹介したシリーズの『千と千尋の神隠し』編です。作品が完成するまでの裏側が知られる嬉しさには格別なものがありますよね。油屋のラフ画や内部の様子、カオナシの初期設定の姿など、ページをめくるとワクワクが待っていますし、イラストだけ追っていても存分に楽しむことができます。巻末では、デジタル映像の演出と技術、アフレコ台本も掲載されています。アフレコ台本は誰もが思わず挑戦してみたくなるのではないのでしょうか。本を存分に楽しんだ後には、映画ももう一度観たくなるはず！

## 芸術の秋を楽しもう

### いわさきちひろ×佐藤卓=展

2014年8月6日(水)~2014年11月3日(月) in ちひろ美術館・東京

今年、没後40年を迎えた画家 いわさきちひろさん。各地で、その記念展が行われていますが、東京都練馬区にある、ちひろ美術館では、いわさきちひろの絵を今の人たち、特に子どもたちに届くようプロデュースしたというグラフィックデザイナーの佐藤卓さんとのコラボ展が開催されています

726-イ 『ちひろの昭和』 竹迫 祐子・ちひろ美術館 || 編著 河出書房新社

いわさきちひろの絵から昭和という時代の姿を知ることのできる本です。いわさきちひろの描く子どもたちの柔らかな表情を見ていると、心がほっこりとするのを感じます。絵だけでなく、彼女の言葉や生き方にも温かく、キラキラとしたものが溢れていて、読んでみると、いわさきちひろの絵が人々の心に響く理由がわかったような気がしてきます。また、女性としてのおしゃれの楽しみ方、母としての在り方など、見習いたいと思うところもたくさん見つかりました。

## 日本国宝展

2014年10月15日(水)~2014年12月7日(日) in 東京国立博物館

1990年、2000年の開催で120万人を動員したという日本国宝展が再び開催されます。平成になって3回目となる今回は、祈りをテーマに、仏と神と、人の心をつなぐ役割を担ってきた絵画・彫刻・工芸・典籍・考古資料などが展示されます。日本の国宝が一挙に見られるこの機会を逃さないでください。

709-ヨ 『日本の国宝』 洋泉社

教科書にも載っているお馴染みのものから、初めて見るものまで日本の誇るべき国宝を建造物、彫刻、絵画など部門に分けて紹介しています。それぞれに解説があるだけでなく、国宝とは何なのかという基礎知識や国宝にまつまる物語など、国宝に関する幅広い知識を得ることができます。

また、この本は今回の国宝展に合わせて刊行されているので、国宝展をより楽しむための入門書として読むのもおすすめです。

## 手描きのイラスト術を磨く

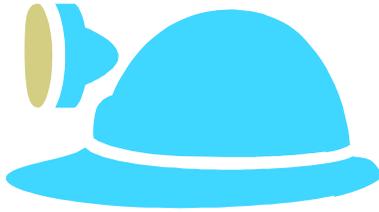
726-モ 『かわいいイラストBOOK』 森 シホカ || 著 成美堂出版

手帳や手紙の片隅などにちょっとしたイラストを描きたいと思った時、「こういうのが上手に描けたらいいなと思うことはありませんか。「でも、絵を描くのは苦手だから」と諦めていた人もこの本があれば大丈夫です！誰にでもササッと絵が描けるコツを伝授してくれているので、手順に沿って、色々なイラストに挑戦してみましょう。絵のタッチがとてもかわいらしいので、身の回りのものの装飾に活用してください。

## 未来を切り開くためのキーワード

『未来を切り開くためのキーワード』第5回目のキーワードは“災害に強くなる”です。

地震・豪雨・暴風・津波・噴火などの災害は、私たちの生活を一瞬にして狂わせます。つい先日も茨城を震源とした大きな地震があり、ヒヤッとしたばかりですが、予期せぬ災害に見舞われた時、まず私たちに必要なのは冷静な判断とそれに沿った行動をとることです。混乱の中で、自分の身を守るというのは何よりも大切なことです。では、そのためには何が必要か。まずは、行動をとるための正しい知識が頭に入っていなければなりません。いつ起こるか分からない災害に備えて、多方面から役立つ知識を取り入れていきましょう。



### いざという時の備えになる知識

369-ク 『地震の準備帖』 国崎 信江 || 著 NHK出版

大地震に備えて準備しておくべきこと、意識しておくべきこと、また大地震が起こってしまった時に取るべき行動についてが、時系列に沿って示してあります。キーワードを挙げながらひとつひとつが丁寧かつ簡潔にまとめてられていて、記憶に残りやすい内容となっています。何となく頭に入っていることもあるかと思いますが、そうした箇所もおさらいの意味を込めてよく読みましょう。

ツナ缶をランプにしたり、物干しざおと毛布で担架を作ったりと、身近なものを代用品として生かすアイデアやお店で買える便利な災害グッズなども豊富に紹介されています。また、実際に、震災を経験した人の声も各所に載っていて、その言葉にも震災に役立つヒントがたくさんつまっています。身につけた知識は家族や友人ともぜひ共有してください。

### 自然の恵みを活用する

596-オ 『食べる野草図鑑』 岡田 恭子 || 著 日東書院

身近にある、いわゆる“雑草”と呼ばれる植物たち。抜いても抜いても生えてくる邪魔者と思っていたり、視界に入れるまでもなく素通りしたり、そんな扱いをしてはいないでしょうか。でも、それは単なる雑草ではなく、実は栄養豊富な食材として活躍するパワーを持っているのです。しかも、それらがこの本では見事におしゃれな料理に変身しています。シロツメグサが豆腐チーズグラタンになったり、ツククサがキッシュになったり、その華麗な変身ぶりは衝撃的です。また、レシピの横には、どんな効果を持った野草なのかも紹介されています。

食べられる野草がこんなにあること、それぞれがどんな効果を持っているのかということ、そうした知識は食糧不足に陥った災害時においても役立つ知識のひとつと言えます。

### 身につけておきたい大切な基本

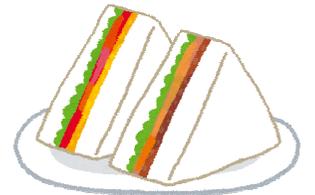
598-マ 『応急手当』 前廣 進 ほか || 著 一橋出版

今年の夏にも、熱中症で倒れたお年寄りを救護する機会がありました。災害時だけでなく平素であっても急に必要になる場合のある応急手当。どうすればよいのか知ってさえいれば落ち着いて対応できたのにと、あの時私のした行為は本当にそれでよかったのかとか、後になってからも色々悩んでしまいます。元気な高校生であっても、運動の最中に急に心肺停止で倒れる事例もあります。もし、その時周囲の人がただオロオロするばかりだったら倒れた人は死んでしまいます。ぜひ、この本を読んで、いざという時に行動できるようにしておきませんか。AEDの使い方、救急車の呼び方、傷病者の運び方、そして実際の手当の仕方。いざという時のために、備えておくことが大切です。

## 図書館司書の「今月はこの本を読みました」

今月が書名が気になっていた吉田篤弘さんの『それからスーブのこ  
とばかり考えて暮らした』(B913.6-ヨ 中央公論新社)を読みました。

大里くんが越してきた街には、おいしいサンドイッチ屋さんがあった。路面電車に乗って、隣の駅に行けば、大好きな彼女と会うことのできる古い映画館もある。その地で大里くんは大家さんからは「オーリック」と呼び名をもらい、のんびりと心地よい生活を送っていた。



おいしいサンドイッチ屋さんの名前は、「3」と書いて、「トロワ」と読む。一口食べ、その味の虜になったオーリックくんは毎日通い続け、サンドイッチの作り主 安藤さんとその息子 律くんと仲良くなる。そして、安藤さんにスカウトされ、トロワの一員として働くことに。そこでオーリックくんはスーブ係を任命され、書名のとおり生活が始まる。というわけですが、トロワのサンドイッチも、オーリックくんが素敵な出会いの果てにたどり着いたスーブも、この物語の登場人物たちの人柄が表れた優しい良い味がするんだらうなあ、そして、それはとってもしつこいんだらうなあと思えば膨らむほど、お腹が空いてしまいました。【今井】

44年も経って?!と、とても驚いたのが、『かもめのジョナサン』完成版(933-バ 新潮社)の出版でした。もともとの『かもめのジョナサン』は1970年にアメリカで、日本では1974年に五木寛之の創訳で出版されました。ロングセラーだったこの本のタイトルがどこか心に引っかかっていたのでしょうか、大学図書館の書庫の未整理本のコーナーで出会った時、なんとなく手にして、一気に立ち読みしてしまったことを覚えています。粗筋は、飛ぶことの喜びを追求したジョナサンが自ら学び、教師を得てさらに高みをめざし、若いカモメを指導するという3部構成の内容でした。飛ぶことの追及が内面世界を満たしていく物語に、生きる意味とは、真の自由とは何かについて考えさせられました。作者は物語の結末に当たる4部を書くも不必要と判断し放置。そして半世紀近くが過ぎて、当時は未来である現代になり、そこに何が起こったのかを知った今、私たちに問いかけるため、または希望を提示するために、新たに第4部を加えた完成版を出版したのではないのでしょうか。だとすると、出版を驚き喜んでばかりはいられません。【鈴木】